

## 新型コロナウイルスワクチン（ファイザー製）について

こうた内科クリニック

2021.5.6

5月末から65歳以上の高齢者の方々に接種が始まり、6月以降に64歳以下の方にも接種が始まる予定となっています。

新型コロナウイルス自体人類が初めて経験する感染症ですが、このワクチンについてもこれまでのワクチンとは全く違う作り方をしているものなので不安な方もいるかもしれません。そこで、分かっているワクチンのデータや僕個人の考え、実際自分が打ってみた印象などを書いてみたいと思います。参考にしてみてください。

少し長くなるので最初に結論から書きます。

- ・ファイザー製のワクチンの予防効果は非常に高い。
- ・痛みや熱などの副反応が出る可能性は高いけれど、1-2日で治まる。
- ・アナフィラキシーはめったに起こらないし、しっかり対応すればまず大丈夫。

→

以上から接種するかどうか迷われている方に聞かれた場合、内科医として接種を推奨しています。

・**どんなワクチン？**（ここはなるべく簡単に書きますが少し難しい話になるので読み飛ばしてもらってもいいですよ）

これまでのワクチンは、実際のウイルスを弱らせたものやウイルスの一部を体に入れることによって、体にウイルスと戦う抗体を作らせていました。でも今回は **mRNA**（メッセンジャーRNAと読みます）というものを注射します。新型コロナウイルスの抗原の鋳型となる遺伝子なのですが、それを入れることによって自分の細胞にウイルスタンパクを作らせて、さらに抗体を作ります。

何だかよく分からない話ですよ。「遺伝子」なんて言葉も出てくるし、そんなの体に入れたら自分の遺伝子もおかしくなってしまうのでは？なんて考えてしまう人もいます。もちろん長期的なデータはありませんので絶対は言えませんが、この **mRNA** が我々の遺伝子に影響を及ぼすことはまずあり得ません。そもそも **mRNA** は非常に不安定な物質で、簡単に分解されてしまいますし、実際注射した **mRNA** も数日以内に消失するようです。**mRNA** が消えても抗体がしっかりできていれば感染を防ぐことができます。

不安定な物質なので超低温での保存が必要などのデメリットはありますが、科学技術の進歩によりできた非常に有用なワクチンだと思います。今後はこの技術がワクチン以外にも治療などで応用される可能性があります。

### ・効果は？

35,000人以上を対象とした海外の試験で、「2回接種して7日以降の有効性が95%」という結果でした（言い方を変えれば、「ワクチンを打つことによって、コロナにかかるはずだった100人のうち95人をかからなくすることができる」という意味です）。

この有効性はとても高いと思います。

試験ではなく実際にみんなに打ったらどうなるかというデータがイスラエルの結果から分かってきています。イスラエル60万人のデータによると、2回接種後7日以上経つと90%以上の予防効果があり、死亡者はほとんどいないという結果になっています。実際イスラエルでは国民の大多数に接種が進んだことによって新規感染者数が激減しています。

この結果を見る限り（ファイザー製の）ワクチンを打った方がいいのは間違いないと思います。

### ・副作用は？

皆さん副作用が心配だと思います。

こちらも臨床試験の結果を参照してみると、注射部位の痛みや筋肉痛は8割くらいに出現して、頭痛、倦怠感、関節痛などの風邪様症状も2~4割くらいで出る様です（ただし頭痛や倦怠感を実際薬を注射していないプラセボ群にも出ているため、実際はそれほど無いのかもしれませんが）。発熱に関しては、1回目で約3%、2回目で15%くらいに出る様ですが、いずれも1-2日で治まります。辛い場合は解熱鎮痛剤を使うと楽になります。

実際当クリニックのスタッフは僕も含めて8人1回目の接種を済ませましたが、接種部位の筋肉痛の様な痛みがほぼ全員出ましたが1日でほぼ改善しています。僕は痛み止めを飲んだら気にならない程度になりました。

### ・アナフィラキシーについて

どんな薬に対してもアナフィラキシーという重いアレルギー反応が出る可能性があります。このワクチンについては、アメリカのデータですが約190万回の接種後に21例のアナフィラキシーが報告されています。（だいたい10万に1人くらいの割合で、インフルエンザワクチンの場合は100万人に1人くらいです）。そのうち17人はアレルギー反応の既往がある人で、そのうち7人はアナフィラキシーの既往がありました。70%の人がワクチン接種後15分以内に発症し、86%が30分以内に発症しています。その全員が回復しています。そのため接種後最低15分間の経過観察が必要ですので、クリニックで接種した場合も15~30分院内で過ごしていただきます。それほど確率が高いものではありませんし、しっかり対応すればまず問題ないと思います。

・接種のスケジュールは

1回目の接種後、3週間後に2回目を接種します。

日本で行われているインフルエンザワクチンの皮下注射と違って、筋肉注射になります。僕自身は打ってもらったときは全く痛くありませんでしたが、数時間後くらいから筋肉痛の様な痛みが出てきました。

・接種できない人は？

当日に37.5℃以上の熱がある方、急性疾患にかかっている方は打てません。

15歳以下は対象外です。

妊婦さん、授乳中の方の効果、安全性は確立していません。

これまでワクチン接種でアレルギーを起こした方は注意が必要ですが、飲み薬のアレルギーはまず問題ないです。

新型コロナウイルスの感染から自分を守り、周囲への感染を広げないためには、これまでの感染予防対策に加え、このワクチン接種が非常に大事なことだと思います。